



「阿弥陀来迎図」

この「阿弥陀来迎図」を描くきっかけは、親しい浄土宗のご住職より、鎌倉時代に描かれた総本山知恩院所蔵の国宝「阿弥陀二十五菩薩来迎図」(早来迎)の模写による復元画を依頼されたことが始まりです。

阿弥陀如来が、臨終に際した往生者を極楽浄土に迎える為に、観音菩薩・勢至菩薩を先頭に諸仏や天人を引き連れて即座にやってくるこの図を再現させているうちに、私はすっかりこの国宝に魅せられてしまいました。誰でもいつかは死を迎えますが、臨終に際して阿弥陀如来が極楽に導いて下さるので寂しくも怖くも無いと思えました。そして、自分なりの「阿弥陀来迎図」を描いてみたいくなりました。

というのは、2011年3月11日、私の故郷である岩手県を含む東北地方が、大震災に見舞われ、多くの尊い命が奪われました。故郷へ思いを馳せ、絵描きとして何か出来ることがないかと模索していた震災からまだ間もない時、私は兄そして母を相次いで亡くしました。

残された私は現世の無常を実感し、この世に生かされているのだと強く感じるようになり

ました。そして、この世を去るという意味、私のやるべきことの意義、それらを考えるうち、やはり私の役目は、前向きに精一杯生きることであり、それが使命だと思ふようになりました。とはいえ、大切な人を突然失った時の辛さや悲しみは、簡単に消えるものではないことも痛感しております。

そんな時、震災で犠牲になられた身元不明の遺骨を預かっておられるお寺があると聞き、ふるさと東北に祈りを込めて奉納させていただきました。この作品に込めた思いを、ご覧いただいた方の心に少しでも届くよう、また、同じ悲しみを持つ方々が未来に向かい一歩踏み出す力となればと願っております。

井堂雅夫

#### ■曹洞宗 海岸山 普門寺

岩手県陸前高田市にある曹洞宗のお寺院。

東日本大震災で犠牲になられた身元不明の遺骨を預かり供養しておられます。



井堂雅夫・筆

## 「阿弥陀来迎図」

陸前高田市

普門寺様へ奉納



「この度、井堂先生には被災地である陸前高田市のために素晴らしい作品を寄贈頂きましてありがとうございます。

普門寺さんにお見えになるたくさんの方々に見ていただき、被災地を忘れないという思いと共に、私たちに元気を与えてくれるものと信じております。心よりお礼申し上げます。」

陸前高田市 市長 戸羽 太 様(写真・右)

「普門寺では震災で亡くなった多くの方々をお預かりしました。

そんな中、いつも見守り、助けて下さったのは千体仏の仏様でした。

現在、行方不明の方やまだ身元の分からない方がいる中で、亡くなられた方々をお釈迦さまの世界へ早くお送りして差し上げたいと思っておりました。

そんな時、私の思いが届いたかのように、井堂先生の描いた阿弥陀様が普門寺へいらしてくださいました。

運命的な出会いを感じると共に、こんなに嬉しいことはないと思っております。」

普門寺住職 熊谷光洋 様(写真・左)

# 超多度数摺り木版画 『釈迦誕生図』 制作中

前号でお知らせいたしました、最大級の木版画作品「釈迦誕生図」。

ニュースの発行直後から、雅堂ファミリーの皆様から多数のお問い合わせをいただいたり、中外日報の紙面に於て「井堂雅夫氏生涯最大の木版画作品「釈迦誕生図」に挑む」とご紹介いただいたりと、反響は大変大きく、井堂雅夫を初め、彫り・摺りの職人たちも、この歴史的な取り組みに関われたことを誇りに思い、張り切っています。



絵師 井堂雅夫 原画の下描き



原画（版下）完成

## ～ 3 人の彫師～



彫師 西村鞆昇さん 主版を彫刻



彫師の重鎮、松田俊蔵さん 色版を彫刻



彫師 北村昇一さん 色版を彫刻

木版画の制作は、昨年の12月、井堂雅夫が描いた原画を写し取るトレスという作業から始まり、輪郭線を描き出す主版一枚を彫り上げるのに三ヶ月以上の時間がかかりました。来年の釈迦の誕生日である4月8日の花祭りまでに完成させたいため、彫りの作業を京都の彫師3人で分担して、色版も含め四十枚を越す版木を手彫りし、9月半ば、ようやく全ての彫刻が終了しました。とはいえ、これから始まる色校正摺りを経て、井堂雅夫を中心に彫り足しなどの打合わせを行うため、彫りの作業はまだ続きます。今回、彫りを取り仕切り、主版を彫ったのは雅堂で修行を積んだ西村鞆昇さんです。西村さんは「今までにない版木の大きさで驚きました。無事、彫り終わられたのも、彫師の松田さん、北村さんのご尽力のおかげです。私一人では成し得ることは出来なかつたと、大変感謝しております。釈迦誕生図で得た彫りの経験を生かして精進していきます。」と語っています。



トレス作業。緻密で気が遠くなりそうです。

さて、これから4人の摺師で校正摺りを行います。摺り回数は300回を超えるのではとの予測です。日本の和紙は大変強度のある紙として知られていますが、通常の和紙では300回を越す摺りには耐えられません。そこで、井堂雅夫が木版画制作を始めた初期の頃からお世話になっている越前の山口製紙さんにご相談しました。山口製紙さんは、先代から2代に渡って井堂雅夫専用の和紙を漉いてくださる工房です。楮だけでなく、栽培が困難で高級な雁皮を混ぜることで、より、強度と光沢を出せるのではないが、また、この作品の表装は軸装となる



紙漉き 越前 山口製紙さん

ため、強度と表装二つの要素を踏まえ、三層漉きにすればいいのではないかと、雅堂のスタッフとの試行錯誤を重ね、やっと「釈迦誕生図」にふさわしい紙が漉きあがりました。

いよいよ本番である摺りに入ります。4人の摺り師による校正摺りや本摺りの様子はまた次回ご報告させていただきます。

※今回取材いただいた、中外日報土曜版「悠ゆう楽々」に1回井堂雅夫が自身の作品や木版画について語るコラムが掲載されています。

ご購入お問い合わせ先 0120-015-177



井堂雅夫 画『釈迦誕生図』

描くことは、生きること。

# 画業40周年記念展 盛岡カワトク百貨店



エントランス



肉筆画、木版画作品のべ300点が展示されました。



大きな作品も多数出展、会場は天井も高く圧巻のスケール。



多岐に渡る井堂雅夫の画業。心象画～京風景、さらには扇面や北山杉に描いたり。



5階のギャラリーでも同時開催。



普門寺ご住職様と井堂雅夫。

昨年10月の京都文化博物館をスタートに、今年8月には私の故郷盛岡でも画業40周年展を開催いたしました。

私は木版画の絵師として現在まで多くの作品を彫り師、摺り師とともに制作してまいりましたが、それと並行して自由に直感的な表現で描いてきた肉筆作品も多くの方々に観て頂きたいという想いを込めた40周年記念展でありました。

広い会場に展示した初期から現在までの作品を眺めると、京都、岩手、福山、それぞれの活動から生まれた作品や想いすべてが、一本の糸で繋がっていることを感じると同時に、「描き続ける」というわたしの使命を再確認しました。

今回の展覧会にあたり、地元岩手の方々を含め、告知活動など支援してくださった全ての方々に御礼申し上げます。これから一日一日を大切に、もの削りの人生を全うしていきたいと思っております。

井堂雅夫



井堂雅夫 画業40周年記念展

カワトク百貨店(盛岡)7階ダイヤモンドホール、5階ギャラリーカワトク

2014年8月15日～20日の日程で開催され、たくさんのご来場、ご高覧をいただきました。誠にありがとうございました。

## 島津製作所

×

## 井堂雅夫 コラボレーション

京都を代表する企業である島津製作所様とご縁をいただき、新商品のノベルティーのデザインを井堂雅夫が担当させていただきました。最新の技術にも、伝統の技術にも、同じものづくりの魂があり、それらが共存してこそ、より良い文化の発展があるのだと感じました。



動画にも井堂雅夫の制作風景がご覧いただけます。かついい動画です!



新製品の特別サイトに井堂雅夫が掲載されています。

検索ワード **島津製作所 井堂雅夫** **検索** をご覧ください。

(URL <http://www.an.shimadzu.co.jp/hplc/i-series/campaign.htm>)



ノベルティーの風呂敷は友禅染で制作されました。

# TOPICS

井堂雅夫木版画  
ミニ二色紙シリーズ

未

## 今年の干支は安泰の象徴

大好評、井堂雅夫が描く干支ミニ二色紙シリーズ第3弾は「未」。群れをなし生活をする羊は、家族の安泰を示しつつまでも平和に暮らす事を意味すると言われています。また、未の月にあたる6月は、様々な作物が成熟する大切な季節であり豊作への願いがこめられています。井堂雅夫が描いた羊を、伝統芸術木版画により手彫り、手摺りにて制作し、ミニサイズの色紙に仕立てました。飾る場所を選ばないサイズですので、玄関先やリビングのちよつとした場所に飾りやすい大きさです。年未年始のご挨拶品としても大変喜ばれています。



13.5×12 (タテ×ヨコ)

★干支ミニ二色紙「未」販売価格…2,500円(税別)

送料…280円(メール便)

お支払…郵便振替(手数料雅堂負担)



★2015年井堂雅夫カレンダープレゼント★  
2015年カレンダー「日本の四季」が出来上がりました。作品をご注文いただいたお客様、ギャラリー雅堂で5,000円以上お買いものされたお客様にカレンダーをプレゼントいたします。  
※数に限りがございます。カレンダーがなくなり次第終了させていただきます。

カレンダーのみの販売もしております

## 2015年井堂雅夫カレンダー「日本の四季」 定価 500円(税別)

- カレンダーに同封した郵便振替(振替手数料弊社負担)にてお支払い下さい。(※切手によるお支払は廃止となりました。ご了承くださいませ。)郵便にてお届けします。
- 9部以上のご注文は佐川急便でのお届けとなります。
- 送料は以下をご確認くださいませ。

部数	送料	配達方法
1部	280円	郵便
2~4部	390円	郵便
5~8部	440円	郵便
9部以上	864円	佐川急便

## 井堂雅夫画 2015年 松尾大社新春大絵馬 未

来年で3年目となります、松尾大社様の大絵馬。大絵馬は、ずっと飾られているものだと思って行ったら、撤収されていて見られなかった。との、お声をいただきました。ご覧いただけなかった皆様、申し訳ございませんでした。大絵馬は11月の下旬より1月31日まで飾られています。松尾大社様へのお参りの後は、是非ギャラリーにお立ち寄りくださいませ。お待ち申し上げております。



JR 京都にあるホテルグランヴィア京都のロビーにて井堂雅夫作品展が開催中です。

ホテルグランヴィア京都 ロビー展  
10月21日(火)~11月21日(金) 開催中!

趣深い作品が並んでおりますのでお近くにお越しのさいはぜひご覧くださいませ。



## 作品のお申込み・資料請求方法

作品のお申込みは電話・FAX  
メール・HPから承ります。

●TEL 075-464-1655 ●FAX 075-464-0747  
(受付10:00~18:00)

●Email [mokuhanga@gado.jp](mailto:mokuhanga@gado.jp)

●URL <http://www.gado.jp>

木版画のパンフレットも多数ご用意しております。お気軽にお問合せ下さい。

- ・ご注文受付後、通常1週間程度でお届けいたします。
- ・送料、全国一律 800円(税別)。
- ・お支払いは《郵便振替(振替手数料雅堂負担) / 銀行振込 / 代金引換(作品お届け時にクレジットカードor現金でお支払) / 分割払い(詳細はお問い合わせください)》よりお選び下さい。
- ・その他、贈り物用熨斗などお申し付けください。

年未年始休業のお知らせ 12/29~1/4、ギャラリー雅堂はお休みさせていただきます。年始は1/5より通常通り営業いたします。

## アクセス



### ★JR「京都駅」から

- ・市バス 50番《立命館大学前》行  
《桜木町》下車/徒歩2分
- ・市バス 205番《西ノ京円町・金閣寺道》行  
《わら天神》下車/徒歩7分

### ★京阪「三条」から

- ・市バス 12番《立命館大学前》行  
《衣笠総門町》下車/バス停前
- ・市バス 15番《立命館大学前》行  
《桜木町》下車/徒歩2分
- ・市バス 59番《竜安寺・山越》行  
《衣笠総門町》下車/バス停前

### ★四条烏丸から

- ・市バス 50番《立命館大学前》行  
《桜木町》下車/徒歩2分

故郷岩手でも八月に画業四十周年記念展を開催しました。大作や初期の作品の数々は、今まで出品したことがなく、地元の方々の作品はこんなにもたくさんあると驚かされた。口々に驚きの声を上げて熱心に観覧していただきました。その時会場でも展示した阿弥陀来迎図を、陸前高田のお寺に奉納させていただきました。ことになり、井堂雅夫が十月四日の奉納式に参列しました。東北のみならず、広島、石流、木曾の御嶽山火砕流噴火などの災害の前で、いかに人が無力なのかということに改めて思い知らされます。私たちが生きていく中で、生老病死は避けがたく、誰もその時期を選ぶことはできません。井堂雅夫はそのことをよく知っているように、一瞬一瞬を無駄にするまいと、朝から夜まで、毎日絵を描き続けています。自身の作品によって元気になった人や癒されたという人とお話する時の井堂雅夫の目は、とても嬉しそうに逆井堂雅夫がパワーをいただいているように見えます。この世でひとつづつ、平等に与えられたいのちを大切に、そして縁をいただいた人たちのいのちも大切に思える自分でありたいと思う今日この頃です。ギャラリーのある金閣寺周辺は秋も深まり、国が進める外国人観光客誘致の効果なのか、とても賑やかになってきました。散策も兼ね、これからもパワー全開で取り組む井堂雅夫の作品に会い、ぜひお出かけ下さい。お待ちしています。

## 編集後記